

感染拡大を
防止するために

基本的な感染対策の徹底を 継続しましょう



若い世代が感染すると、重症化しやすい高齢者などへ家庭内感染する例もあります。ワクチン接種の有無にかかわらず、下記の基本的な感染対策の徹底を継続しましょう。



3月13日からマスク着用は個人の判断が基本になります

3月13日からマスク着用は個人の判断が基本となります。ただし、次のような場合には注意しましょう。

■周囲の人に感染を広げないためにマスクを着用しましょう

- ・受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時
- ・通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

■ご自身を感染から守るためにマスク着用が効果的です

- ・高齢者、慢性肝臓病・がん・心血管疾患などの基礎疾患を有する人、妊婦などの重症化リスクの高い人が感染拡大時に混雑した場所に行く時

- ＊本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断を尊重する配慮をお願いします



新型コロナウイルス感染症に関する相談・受診の窓口

症状がある場合

- ・かかりつけ医または下記へ
- いわて健康フォローアップセンター(24時間対応、土・日曜日、祝日含む)
☎0570-089-005 ☎050-3730-7658

症状がない場合

- 一般相談窓口(午前9時～午後9時、土・日曜日、祝日含む)
☎019-629-6085 ☎019-626-0837

抗原定性検査キットを陽性者の同居家族で自身での入手が困難な人に配布します

■配布対象

同居の家族が陽性となり、本人が濃厚接触者となった人

■申し込み方法

▶専用申し込みフォームから申請(24時間受付)▶新型コロナウイルス感染症対



専用申し込み
フォーム

～下記でも検査キットが入手できます～

- ①市内薬局やインターネットで購入
- ②発熱などの症状のある人は、岩手県による「いわて検査キット送付センター」に申請することで、1人につき1回検査キットの送付が受けられます。
※ただし、▶65歳以上の人▶基礎疾患を有する人▶妊娠している(またはしている可能性がある)人▶高熱や咳などが概ね4日間続いている人―は配布対象外です
- ③症状のない人は薬局などで実施している岩手県の無料検査が受けられます。
＊②③については、岩手県ホームページなどで詳細をご確認ください



取扱薬局一覧
(厚労省)



いわて検査
キット送付
センター



県による
無料検査事業

医療・介護の不安を解消

いわて中部ネットへ 参加しませんか

【問い合わせ・申し込み】

NPO法人岩手中部地域医療情報ネットワーク協議
会事務局(〒025-0092 大通り2丁目6-23 ☎41-8289)



「いわて中部ネット」とは？

岩手中部地域(花巻・北上・遠野市および西和賀町)の病院・クリニックや歯科診療所、調剤薬局、介護事業所などのうち、いわて中部ネットに参加する施設が住民の病気や薬、検査結果などの情報を共有することで、地域全体で住民の健康を見守

るためのシステムです。

必要な医療・介護サービスを病院などから迅速・的確に受けられるよう、市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。

いわて中部ネットに参加する4つのメリット

普段の受診が安心

複数の病院などにかかっている、診療内容や検査結果に関する情報がひと続きに。普段の受診で、ほかの病院の診療内容をうまく説明できない場合でも、病院などがその情報を把握できるため、安心です。



いざというときも安心

花巻市消防本部も参加しているので、救急搬送時などの場合でも受け入れ先の医療機関が情報を把握でき、迅速な処置につながります。

検査や薬の重複リスクを軽減

複数の病院を受診している場合や薬が多い場合でも、医師や薬剤師が情報を確認することで、検査や薬の重複を減らせます。



災害時も安心

災害時にカルテやお薬手帳などがなくなることがあってもネットワークに情報が残るため、継続して診療や介護が受けられます。

参加施設

現在、岩手中部地域の病院・クリニックや歯科診療所、調剤薬局、訪問看護ステーション、介護施設、消防署のうち159施設(令和5年1月27日現在)が参加。また、気仙・両盤医療圏で運用されている「未来かなえネット」と連携しています。

参加申し込み方法

住民参加申込書に必要事項を記入の上、上記協議会へ郵送または、いわて中部ネットに参加している医療機関へ提出してください。

※参加無料。住民参加申込書は、参加施設などに設置するパンフレットに同封しているほか、同協議会ホームページに掲載しています

❖現在の参加者数や参加施設の一覧は同協会ホームページ(<http://chubunw.com/>)に掲載しています



▲QRコード

マイナンバーカードの情報に加えて

マイナンバーカードの健康保険証利用が始まり、本人の同意があった場合は、医療機関や薬局が診療・薬剤情報、実施した検査項目などを閲覧できるようになってきています。

いわて中部ネットでは、そういった情報に加えて、検査の具体的な結果やCT・MRIなどの診断画像をひと続きに確認することができるため、必要な治療や処方につなげることができます。

また、介護事業所ではマイナンバーカードの情報を閲覧できませんが、いわて中部ネットに参加すると、介護事業所でも医療情報などを確認することができるため、医療・介護の切れ目のない対応につなげることができます。

